

イベントカレンダー

12月	6 土	★クリスマスリース作り <small>(申込終了)</small>
	12 金	季節の植物観察ガイド (7)
	20 土	野鳥観察会 - 冬鳥をみよう (1) -
	20 土	★ミニ門松作り
1月	21 日	針葉樹の観察会
	9 金	季節の植物観察ガイド (8)
	11 日	越冬昆虫の観察会
	17 土	野鳥観察会 - 冬鳥をみよう (2) -
	17 土	たこ作り
	24 土	★万博公園にマイ巣箱をかけよう (1)
	25 日	冬芽の観察会
31 土	野鳥観察会 - 冬鳥をみよう (3) -	

★印は要事前申込です。

水曜休館。12月27日～1月4日休館。

開館時間は午前10時～午後4時まで。

○行事の詳細、参加の方法などは自然観察学習館までお問い合わせください。

○学校などの団体対象の理科、生活科、総合学習などの教育活動支援も行ってまいります。

館内展示

冬の自然展	11/27(木)～平成27年2/2(月)	園内で見られる冬の植物や昆虫などを紹介
パネル展示 森再生への取り組み	11/6(木)～平成27年3/31(火)	「自立した森」再生の取り組みについて展示

アクセスマップ



ふゆ 冬みつけ

ばんぼくこうえん 万博公園で

冬みつけビンゴ!

ビンゴ用紙は自然観察学習館、各ゲートでもらってね。

みつけた「冬」にマルをつけてビンゴを完成させよう!

ビンゴになったら自然観察学習館に持ってきてね。

学習館から「森のプレゼント」があるよ。

めざせ森の博士!! 12/23 まで 万博チャレンジラリー (秋版)

わしは森の博士。参加費は無料じゃよ。クイズを解きながら歩いて頭と体の運動もいいもんじゃ。

問題用紙は自然観察学習館、各ゲートで配布しているよ。答え合わせは自然観察学習館まで。

～編集後記～

今年も冬がやってきました。というわけで、現在「冬の自然展」を開催しています。リニューアルした「冬みつけビンゴ」にも、ぜひご参加くださいね。

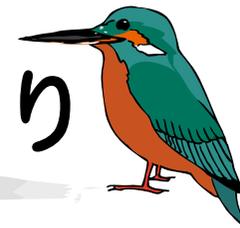
カワセミだより Web版

万博公園TOP > 自然観察学習館 > 広報誌「カワセミだより」
<http://www.expo70.or.jp/cause/nature/observation/#caption4>

2014.12.01

12月号 カワセミだより

NO.105



〈発行〉自然観察学習館 大阪府吹田市千里万博公園1-1 TEL:06-6877-6923

カワセミだよりでは、園内で出会える植物・昆虫・鳥などの自然のミニ知識を紹介しています。



野鳥



冬を彩る瑠璃色の妖精

もみじ川上流辺りで会えるかも!?

ルリビタキ (ヒタキ科)



ルリビタキは毎年冬になると万博の森にやってくる、スズメぐらいの大きさの小鳥だよ。魅力はなんといっても、オスの持つきれいな瑠璃色の羽根。今回は、この「冬の妖精」の秘密に迫るよ!!

高い場所から大移動

ルリビタキは春～秋にかけては標高1500m以上の山地で過ごします。でも、寒い冬が近づいてくると、より暖かい低地に向かって大移動。冬休み(?)を万博の森などで過ごします。

暖かい場所のほうがエサがいっぱいありそうだね。

ばんぼく十分寒いけど...

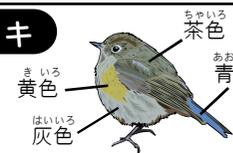


瑠璃色



一人前の(?)オス

ルリビタキ



メスまたは若いオス

冬はライバル!?

標高の高いところほどではないにしても、やはり冬の万博は寒いです。そのため、エサとなる昆虫類や木の葉などが少なくなるので、オス・メス関係なくエサ場を巡って争います。

ジョウビタキ*もそうだったよね。



瑠璃色は一人前?

オスのトレードマークの瑠璃色の羽根。でも若いオスはメスそっくりの色です。実は瑠璃色の羽根になるまでには約2年もかかります。一人前(?)になるまでの道のりは決して短くないのです。

*カワセミだより 92号をみてね。

見たことはあっても名前を知らない人が多いかも？

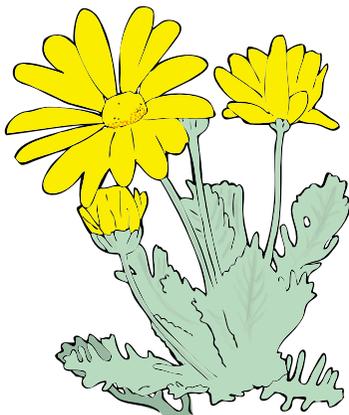
ユリオプスデージー

ユリオプスデージーは南アフリカ原産のキク科の常緑低木です。小さいうちは草本のように見えますが、年を経ると茎が太くなり表面がごつごつした樹木らしい姿になります。

園内では夢の池付近で見られるよ！

輝くような黄色の花

ユリオプスデージーの開花期は、とても長く11月から5月です。その間、輝くような鮮やかな黄色の花を咲かせ、私たちの目を楽しませてくれます。



銀緑色の葉も美しい

1年中見られる葉は表面にやわらかい毛が密生し、銀緑色をしています。花が咲き終わって葉だけになっても楽しめます。



葉の形が同じキク科の菊菜に似ていておいしそう…。



余り花の咲かない冬に咲く貴重な植物なんだ。

実は目にしているはず

ユリオプスデージーは丈夫で、銀緑色の葉と長期間咲く花が見応えのある植物です。よく庭木として利用されたり、公園に植えられたりして多くの場所で目にします。



もっと自然

このコーナーでは自然を楽しむための色々な工夫や方法をお伝えしています。

赤い実が見ごろの縁起のいい植物

ナンテン

ナンテンは中国原産のメギ科の常緑低木です。日陰げでもよく育ち、大きくなり過ぎないので庭木としてよく植えられます。今の季節、色づく実と濃い緑の葉の色合いが美しいです。

園内では森の舞台周辺や日本庭園で見られるよ！



今が見ごろの赤い実

ナンテンの結実期は11月～12月で、まるい実が集まって円錐状に実ります。赤色が鮮やかで門松の彩りに使われます。



神社でも見かける理由は？

ナンテンの名前より「難を転ずる」を連想させることから縁起の良い木とされ神社などでも植えられます。

実を食べに来る鳥

ナンテンの実を鳥が食べに来るのは、多くは年が明けた頃からです。ヒヨドリが食べる事が多いのですが、ツグミも稀に食べに来ます。

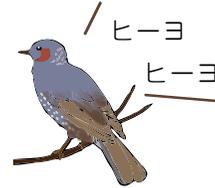


黄色

ちなみに赤い実に対して、花びらは白色。6月に花期を迎えるよ。

白色

葉は鳥の羽のような複葉。このイラストと同じ形をしているよ。

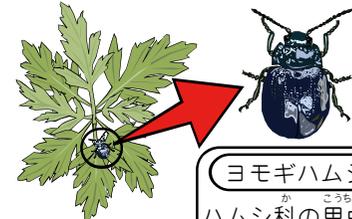


ヒヨドリ

全体に灰色で頬が茶色の鳥。全長約27センチ。

探そう、瑠璃色の宝石！！

みなさんは冬の万博公園で「瑠璃色の宝石」を見つけたことがありますか？もちろん本物の宝石ではありません。その正体は「ヨモギハムシ」という瑠璃色の昆虫で、その名の通り、ヨモギを食べるハムシです。今の時期、ヨモギの根元をよーく探すと、このキラキラの宝石が潜んでいることがあります。園内だと、生産の森やもじ川周辺などにヨモギが生えていますので、ぜひ探してみてください。ちなみに学習館でも現在展示していますので、そちらもぜひご覧ください。



ヨモギハムシ
ハムシ科の甲虫。
体長7～10ミリ。

ヨモギ(キク科)